

様式の改訂に当たって参照した過去の議事録（抜粋）

1 平成 29 年 10 月 25 日（水）

（委員）

「法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合」を示す評価項目があるが、この項目は、表に記載する事業だけで 100%になるよう記載するものなのか、必ずしもその必要はないものなのか。

（事務局）

表に記載する事業だけで 100%にならなくてもよい。総務的な事務も含め、表には記載しない事業を合わせて 100%になると考えていただいたらよい。この表には割合の高いものから記載いただくこととなる。

（委員）

個々の事業の中で総務的な役割も担われているということかも知れないが、どの法人も事業に割く割合が高い。この項目は、総務的な部分をどう判断されているか、基盤整備にかかる時間をどの程度重要視されているのかということが反映される部分だと考えている。

→ 新様式の項目 1 の(1)のイに反映

2 平成 30 年 10 月 30 日（火）

（委員）

もし評価項目の見直しを行うのであれば、現行の様式では優先順位の高い事業を 3 件記入するとなっているが、4 つ目の項目として総務的な業務にかかる時間の割合などを入れてもよいかも知れない。

→ 新様式の項目 1 の(1)のイに反映

3 令和 3 年 1 月 25 日（月）

（委員）

各法人の寄附金の状況について、どのように寄附を集める努力をしているのか、また、寄附集めに対しどのような難しさがあるのかといった情報があれば、審査委員会での議論がしやすくなる。統一のフォームで、あらかじめ情報をいただけるとよいと思われる。

→ 新様式の項目 2 及び 5 に反映